

STAGE+を楽しむ(58)(HP 収載)
—クーベリックのベートーヴェン“英雄”—

1. 始めに

前報(58)に引き続き、STAGE+のクーベリックのベートーヴェン“英雄”の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、クーベリックが振るベートーヴェン“英雄”というアルバムの演奏を選びました。

収録日: 1967年3月13日

チェコの名指揮者ラファエル・クーベリックのレコーディング・プロジェクトといえば、1971年～1975年にかけて一曲ごとに欧米の9つの名門オーケストラに振り分けて録音したベートーヴェンの交響曲全集がたいへん有名です。ベルリンフィルとの交響曲第3番では、そちら(1971年)でもオーケストラをたっぷりと鳴らして堂々たる音楽を聴かせていましたが、こちらの映像(1967年)では抑えめのテンポと音色で全体を支配した、より巨匠らしい重厚な雰囲気“英雄”をお楽しみいただけます。

演奏:

ベルリンフィルハーモニー管弦楽団

指揮:

ラファエル・クーベリック

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 交響曲第3番変ホ長調 op. 55 《英雄》



3. 試聴の経過

クーベリックがベルリンフィルを指揮したベートーヴェンの英雄の映像付き音源が残っているということで試聴しました。

1967年収録ということで、前報(58)同様、最近の収録に比べると音質、画質も劣り、特にレンジの狭さが感じられることはやむをえません。

しかしながら、クーベリックの端正で流れるような指揮の下、オーソドックスなベートーヴェンで、一言で言えば、オーケストラを良く歌わせた英雄です。特に第2楽章のしみじみとした表情は聴き応えがあります。



4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、レンジの狭さはありますが、クーベリック指揮ベルリンフィルのベートーヴェンはこういう演奏だという説得力があります。

以上